埼 玉県手数 料条例及び埼玉県証 紙条例 \mathcal{O} 部を改正する条例をここに公布 する。

成三十一年三月十 九 日

玉 県 知 事 上 田 清 司

埼 玉 県条例第三号

埼玉県手数料条例 及 び埼 玉県 証 紙 条 例 \mathcal{O} 部 を改 正 立する条 例

(埼玉県手数料条例 \mathcal{O} _ 部改正

第 正する。 一 条 埼玉県手数料条例 (平成十二年埼玉 県条例第九 号) \mathcal{O} 部 を次 \mathcal{O} ように 改

に改め、 号 中 改め、 二号中「第七十三号」 を「第七 十号」を 第三条第十 「第七十九号」を「第八十二号」に改める。 同条第二十五号中「第七十六号」を「第七十九号」に改め、 十七号」に改め、 「第七十三号」 同条第二十一号中 八 号 中 を「第七十六号」に改め、 第 に + 改め、 同条第二十四号中「第七十五号」 「第七十二号」 号 同条第二十号中 を 「第十二号」 を「第七十五号」 同条第二十三号中「第七十四号」 「第七十 に 改 め、 一号」を 同 に改め、 2条第十 を「第七十八号」に 「第七十四号」 同条第二十六 九号 同条第二十 中

「七百円」 別表福祉 を「千八百円」 部 の項第六号中 に 「八千円」 改める。 を「一万二千円」 に 改 め、 同 項第十五号中

別表保健医療部の 項第一 号金額の欄を 次 \mathcal{O} よう に改 め

イ 食品 \mathcal{O} 検 查

- (1)理化学検査
- $\left(\longrightarrow \right)$ 食品 中 \mathcal{O} 添加 物 0 試
- (1) 簡単な ŧ \mathcal{O}

万千百九 + 円

(1) 複雑な \mathcal{O}

二万四千 七百 九 +円

食品中 \mathcal{O} 有害性物 質 (有害性金属を除

二万四千七 百 九 + 円 の試験

(四) 食品 中 \mathcal{O} 残留 薬 \mathcal{O} 試 験 (\equiv)

食品

中

 \mathcal{O}

有

害

性

金

属

 \mathcal{O}

試

万千百九十 円

二万 四千七百 九 円

(<u>FL</u>) 食品 中 \mathcal{O} 放 射 性 物 質 \mathcal{O} 試 験

(2)

菌検

食品

中

 \mathcal{O}

菌

数

 \mathcal{O}

測

定

五万七千百 円

 (\Box) $\left(\longrightarrow \right)$ 中 大 腸

> 三千三百 八 + 円

食品 \mathcal{O} 群 査 試

> 六千五 百 七 十円

 (\equiv) 食品 中 \mathcal{O} 的 \mathcal{O}

七千三百二十円

口 添 加 物 の検査

(1) 加 物 の確認試 験

(2)加 物 の純度試 験

(3)加 物 \mathcal{O} 乾燥減量試 験

(4)加 物 の強熱残留物試験

(5)加 物 の強熱減量 試 験

(6)

加

物

 \mathcal{O}

水分試

験

(7)

添 加 物 \mathcal{O} 定量試 験

器具

 \mathcal{O}

理化学的試

験

万千百 九 + 円

万千百. 九 円

万千百. 万千百 九十円 九 円

万千百九十円

万千百九十円 万千百九十円

(溶出検査に限る。) 万五千百二十円

め、 一号中 「一万千三百円」 別表保健医療部の 同項第百二十五号中 「二万円」 に改める。 を「二万三百円」に改め、 項第百二十四号中 万千円」を「一万千五百 「二万三千円」を 同項第百八十二号中「一万千円」 円」に 「二万三千四百円」に改 改め、 同項第百八十 を

号を加える。 別表県土整備部の 項中第二十八号を第三十一号とし 第二十七号の 次に次の三

達するごとに三千五百円を加えた金額		
積額の五百万円を超える部分が百万円に		
二十一万千六百円に損失の補償金の見		
え二千万円以下の場合		
ニ 損失の補償金の見積額が五百万円を超		
るごとに三千四百円を加えた金額		查
額の百万円を超える部分が十万円に達す		申請に対する審
七万五千六百円に損失の補償金の見積		ついての裁定の
五百万円以下の場合		用権等の取得に
ハ 損失の補償金の見積額が百万円を超え		に基づく土地使
とに二千七百円を加えた金額		条第一項の規定
十万円を超える部分が五万円に達するご		四十九号)第十
二万七千円に損失の補償金の見積額の	料	成三十年法律第
百万円以下の場合	申請手数	る特別措置法(平
ロ 損失の補償金の見積額が十万円を超え	得の裁定	円滑化等に関す
場合 二万七千円	権等の取	明土地の利用の
イ 損失の補償金の見積額が十万円以下の	土地使用	二十八 所有者不

		るって
		定の申請に対す
		用についての裁
		づく収用又は使
		一項の規定に基
		は第三十七条第
		十七条第一項又
	数料	特別措置法第二
方法で算出した金額	定申請手	滑化等に関する
金額の欄イからへまでに掲げる場合と同じ	使用の裁	土地の利用の円
損失の補償金の見積額に応じて第二十八号	収用又は	三十 所有者不明
		查
		申請に対する審
		ついての裁定の
		続期間の延長に
		地等使用権の存
	数料	規定に基づく土
	定申請手	十九条第一項の
	延長の裁	る特別措置法第
算出した金額	続期間の	円滑化等に関す
欄イからへまでに掲げる場合と同じ方法で	用権の存	明土地の利用の
損失の補償金の見積額に応じて前号金額の	土地等使	二十九 所有者不
る場合 三十六万百円		
へ 損失の補償金の見積額が一億円を超え		
に達するごとに四千八百円を加えた金額		
積額の二千万円を超える部分が四百万円		
二十六万四千百		
え一億円以下の場合		
ホ 損失の補償金の見積額が二千万円を超		

八十七条の四」に改め、 イ及び第百十七号イ」に改め、同項第二号及び第三号中「第八十七条の二」を「第 ハ」を「第百六号ハ、第百十二号ハ及び第百十七号ハ」に改め、 別表都市整備部の項第一号中「第百九号イ及び第百十四号イ」を「第百十二号 同項第五号中「第百三号ハ、第百九号ハ及び第百十四号 同項第七号、第

兀 に 改 \emptyset 同 項 第二十二号 第十二号及 金 び 額 第 + \mathcal{O} 兀 欄 号 を 中 次 \mathcal{O} 第 ょ う 八 に + 改 七 \otimes 条 る \mathcal{O} $\overline{}$ を 八 + 七 条 \mathcal{O}

イ ロ及びハ以外の場合

十八万円

口 \mathcal{O} 場合 建築 基 準 法 第 兀 +八 条第 · 六項 第 _ 号 に 規定する 増築、 改 築又は 十二万 移 円 転

建 基 準 法 第 兀 十 八 条第十六 項第二号 に 規 定する 建 築の 場 合

1

十四万円

六 六 項 を を 同号 同 用 第二号」 項第三号」 百 同 金 同 金 項第 号 五. 百 第百 項第 第 額 項 額 中 す 中 七 別 「第百 「第六 条第三 中 「第八 認定」 を 七 中 表 を 同 \mathcal{O} \mathcal{O} る場合 号 三号 + 項 百 第百 百 同 条 百 都 同 六 中 項 市 項 八 七 1 十 \mathcal{O} を 口 匹 八号 号 号 条 第 + _ を + 項 第 金 五号とし、 \mathcal{O} 七条第五 に 整 第 同 百 「第六十 が 二 二 六条 下に 第二号 第六 第 百 中 百 に、 項 改 金 額 五. を 含 備 百 + に改 号を第 を第百 む。 百 六 同 額 七 + 第百十二号中 部 兀 \otimes \mathcal{O} 「第百 第百 号を第百十号と 匝 十 項第百三 号金 八 号 \mathcal{O} 0) \mathcal{O} 第 -六号 | 号とし 号 \mathcal{O} を \otimes $\overline{}$ 項 項 欄 七条第九 同 と 八第三項」 百 に 第二十 三 十 十号 申 百 _ 第二号」 口 「第 同 + 額 項第三十 九号金額 を、 _ ·請 に 改 項第 七号金 を + カ 同 \mathcal{O} 号 \otimes 号 改 に 八 八 5 __ 同 「第百六号 号と 号と 「認 六号 中 改 百 対 第 \otimes を「第百十三号」 +同項 を同 項第二号」 項 第 イ 同 + 百 0) に 第 め、 七 額 する審査」 八号 _ 定 項 第 1号まで \mathcal{O} 項第 条 Ļ 同 中第百十号 百 \mathcal{O} Ļ 下 改 中 百二号 第三十 欄 号中 号 八 同 \mathcal{O} +に 8 中 欄 「第百 0 口 第百 匹 同 を 号 金 第百 百 又 八 口 第 下 項第百十 七 号 $\overline{+}$ に改 を三号ず 同 を 額 _ 同 は 第百 中 (同 九号 条 を 六十七 に 同 六号 に +を加え、 項第 第 項 七 に改め、 \mathcal{O} 十七号金 の <u>-</u> を第百 第 項 改め、 「第百十二号金額 \neg 法第 め、 Ŧī. 欄 を 号 七号を第百二十号とし、 第 中 の申 第百 を第百 九号金 項 に 兀 百 イ と 百 「第百二 -四号中 第三号 改 「第六十 五. 八十七条の二第二項 十号 条の三第三項第二号」 9 L 同 兀 を 1十三号 繰り に 請に 号と め、 同号 項第六十四 同 同 八号とし、 号 額 第 中 九 額 項第六十五号事務 同 号を同 0 号とし 第 対す +下 同 を 項 \mathcal{O} 「第六 欄 を 第百 七条の三第五 八 号を げ とし、 同 中 を 欄 イ 八 +第 号」 項第 る 同 1 第 項第百十 +七条 審査」 三号 項 0 号 第六十五 同 同 百 に、 + 百七 七 事務 七条 中 項 同 項 同 欄 を 十三号を 第 百十二号 条 \mathcal{O} 第 中 金 項 第 項第百 口 改 五. 「第百 号 *の* 兀 第百 百 額 第 \Diamond 九号 第百 同 を 12 \mathcal{O} 項 又 百 0) 項 三第 に 加 を \mathcal{O} 項 お 種 百 + \mathcal{O} に、 に改 第二号」 1十二号 第百 号 改 第 え いて 兀 Ŧī. لح 九 十 種 别 は __ 同 を 号 号中 第六 号 号 \Diamond 号 兀 别 九 次 0 口 \otimes 中 لح 同 項 潍 \mathcal{O}

		対する審査
		る許可の申請に
	手数料	築物の使用に係
	許可申請	行場等とする建
	物の使用	変更して特別興
	する建築	に基づく用途を
	途を変更	三第六項の規定
	場等に用	法第八十七条の
十六万円	特別興行	六十八 建築基準
		る審査
		可の申請に対す
	料	の使用に係る許
	申請手数	等とする建築物
	使用許可	変更して興行場
	建築物の	に基づく用途を
	変更する	三第五項の規定
	に用途を	法第八十七条の
十二万円	興行場等	六十七 建築基準
		対する審査
	料	の認定の申請に
	申請手数	に係る全体計画
	画の認定	変更に伴う工事
	る全体計	に基づく用途の
	工事に係	二第一項の規定
	更に伴う	法第八十七条の
二万七千円	用途の変	六十六 建築基準

第二条 第三条第二十六号中「第八十二号」を「第八十三号」に改める。|条 埼玉県手数料条例の一部を次のように改正する。

別表保健医療部の項第一号金額の欄を次のように改める。

食品の検査

(1)理化学検査

食品 中の 添 加 物

(口) (イ) 簡単な £ \mathcal{O}

万千三百五 万 五千九 十円 +円

食品中の 複雑な Ł \mathcal{O} 性 物

 (\Box)

有

害

質

(有

害性金属を除

 \mathcal{O}

試

二万五千 九 +

 (\equiv) 中 \mathcal{O} 有 害 性 金 属 \mathcal{O} 試

万千三百五十円

食品 中 \mathcal{O} 残 留 農 薬 \mathcal{O} 試 験

> 二万五千 九十 円

(<u>F</u>) 食品 中 \mathcal{O} 放 射 性 物 質 \mathcal{O} 試 験

五. 万 七 千四 百二十

円

査

 $\left(\longrightarrow \right)$ 食品 中 \mathcal{O} 細 菌 数 \mathcal{O} 測 定

三千 兀 百 Н

食品中 \mathcal{O} 大 腸 菌 群 \mathcal{O} 試 験

六千六百十 円 円

 (Ξ) 食品中の 目 的 菌 \mathcal{O} 杳

七千三百 七 +

口

加

物

の検査

(2) \mathcal{O} 純 試

(1) 加 \mathcal{O} 確 認 試

万千三 百 五. +

(3)加 物 \mathcal{O} 乾燥減 量 試 験

万千三百五十 円

万千三百五十

円

(4)加 物 \mathcal{O} 強熱残 留 物試 験

万千三百五十

(5)加 物 \mathcal{O} 強熱減 量 試 験

万千三百五十 円 円

(6)加 \mathcal{O} 水分試 験

万千三百五十 円

(7) \mathcal{O} 定量試 験

> 万千三百五十 円

器具 \mathcal{O} 理化学的 試 験 (溶出検査に限る。 万 五 千百 九 十円

に、 同 千円」を 「二万二千五百円」 項第十 に、 別表保 七 「九千 「 一 万 千三百 万 同項第九号から第十一号までの規定中 _ 七 七 千 . 匹 四千円」を「一 千三百円」 「一万二千百円」に改め、同項第五号中 健医療 八百円」 「一万七千円」を 円 号 百 円 中 部の を 「二万二千四百円」を を に 「七千 に、 改め 一九千 を 項第四号中 「七千四百円」に改め、 万四千百円」に、 兀 \neg 百 九百円」に、 同 「一万七千百円」に 円 万 項第十五号中 七 「一万六千円」 千円」 に 改 め、 「二万二千五百円」に、 「七千三百円」を「七千四百円」に改 同項第十六号中 「九千 「二万二千四百 「一万五百円」を「一万六百円」 同項第六号から第八号までの規定 を「一万六千百円」 改め、 万七千百円」 八百 「九千八百円」を「九千九百円」 Ħ 同項第十二号及び第十三号 を「九千九百円」 円」を「二万二千五 「二万二千四 に改 「一万七 8 同 項第十 百 千円」を 一万二 旧円」を に改 七 百

を

十五号 を に改 を 万 七 万 万二千百 第六 号ま 七千百 円 七 カコ 二万 \mathcal{O} 千 5 _ 万 \otimes 同 一万 第三十 万 で を 中 五. 項 十三号中 円」を 二千五 兀 「 一 万 円 円 同 百 万 項 三千 千 規 千 改 八 二万二千 万千円 -七号ま に 万七 八号中 め、 $\overline{}$ 百円 定 第二十六号及 百 百 改 百 中 兀 を 改 円 円 千円」 め、 兀 万七千百円」 同 千 円 \Diamond _ 千三百円」を 項第六 に、 円 で を を 同 万六千 万六 \mathcal{O} に、 改 に 同 四百 $\overline{}$ 項第三十二号 規定 を 万 改 $\overline{}$ を 項 \otimes 九 + _ 円」を 万二千 百円 び 8 「一万. 第二十三号中 \neg 第二十 円 中 る 万 __ 万 四 万 号 Ŧī. に 項 「二万二千 七千円 百 中 に 改 百 を 七千百円 百円 第 「二万二千 四千四 千百 円 め、 七号 円 改 + $\overline{}$ 五 カコ \Diamond 九 円 5 千 を 万六千百 中 に 号 同 百円 第三十 四百円」を 項第 改 中 八 を「 同 _ $\overline{}$ 二万二千 「二万二千 に、 百 に 項 万 五. 8 七千三百 _ 万六百 第二十 円 六十号 改 兀 百 __ __ に 四号 め、 千円 万六千 円 円 同項 万七千百 改 を め、 まで 万五百円」 五. 「二万二千五 に、 · 四 百 · 四 号 どを 第二十 円 中 \neg 同 百 項 五千九百円」 円 同項第百二十八号中 七 \mathcal{O} 第二十 に 円 円 中 $\overline{}$ 規定中 · 号 か 改 万六千円」 を 「二万二千四 七 め、 万 四 万二千円」 を に 万七千円」 を 八号から 改 5 一 万 千 「二万二千 百円」に、 「一万六百円」 一 万 1千百円 同 第二十二 兀 六千 12 百 項第三十 万 を 改 同 兀 七 項第二 に 第三 百 千 $\overline{}$ 五. 円 五. ま 八 同 万

項第 改 万 百 九 \otimes 千 五. 表 農 十 同 二万 林 五. 百 項 円」に 号 部 万 中 兀 五. 0 千 + 項第 八 千 円 号及 百 _ 円 兀 兀 号 を 十円円 び に 「二万六 中 第四 九 改 「千二百 め、 百 を +十二号中 円 千 同 . 円 八百 項第三十 円 を 「二千. 五. に を 七千 改 「千三百 十 円 八 8 九 九 号 百 に 中 百三十円 同 項 円 円 第三十 兀 _ を 千 12 円 改 万 九 七 8 千 千 号 改 を 五. 中 同 8 兀 百 項 第二 円 に 千百 改 万 円 七 + 千 五. 同

同 别 表 同 号 次 同 同 +項 項第 第十 九 イ 号を を 6 を「第三十号 に 七 \mathcal{O} 号中 第三十 九号 え +改 中 る 兀 8 号 第三十一号を第三十三号とし、 一号 ま 同 L 第 号 で 金 -四号金 を を 同 لح 額 二号 項第 同 \mathcal{O} 項 第 ず + 額 第十 イ」に 六 9 \mathcal{O} 八号 繰 八号 号 欄 中 n 1 改 下 لح か め、 第 げ を 5 + 第二十八 第 同 兀 同 号を 項 号 十 同 九 中 金 六 項 同 号金 号ま 第 を 第三十号中 項第三十二号 \mathcal{O} 五. でを二号ず 号 \mathcal{O} を第 を 「第二十 第 同 0 뭉

					_
交付	請書等の写しの	る建設業許可申	十三条に規定す	十一 建設業法第	
数料	の交付手	等の写し	可申請書	建設業許	
の交付を申請する	当該閲覧に係る法	金額(第四号に規	つき三百円に用知	一の建設業者に気	

の交付を申請する場合にあっては、用紙一当該閲覧に係る建設業許可申請書等の写し金額(第四号に規定する閲覧に引き続いて、金額を第四号に規定する閲覧に引き続いて、一の建設業者に係る建設業許可申請書等に

繰 ŋ 別 下 表 県 げ 土 第三号 整 備 部 \mathcal{O} \mathcal{O} 次に次 項 中 第 八 \mathcal{O} 号 ___ 号を加える を第 九 号 لح 第 兀 号 か 6 第 七 号 ま で を __ 号 ず

0

枚

に

つき十円)

に供する事務	申請書等を閲覧	づく建設業許可	三条の規定に基	四 建設業法第十
	数料	等閲覧手	可申請書	建設業許
			につき 三百円	一の建設業者に係る建設業許可申請書等

号金額 号イ に、 円 第百 七百円」 百二十円」を に、 百 十円」を「三十五 · 九 号 十二号 万七千五百二十円 第百二十 「第百二十三号」 第百 十七 を 同 及 「十六万千 「二十二万八千 同 項 び \mathcal{O} 都 中 「十七万四千 に、 百 項中 中 号 第百 市 欄 第百 四号金額 額 第 口 十五号と 整 ハ 一号を第百二十三号とし、 第百 $\overline{+}$ 百 備 \mathcal{O} 「六十三 七 + を を 九 部 五万 百六十円」 号 万二千八百円」に、 イ 十六号を第百十八号とし、 八号を第百二十号とし、 七号金額 \mathcal{O} \neg に改 _ 六 第 第 七 1 \mathcal{O} 項 兀 百十九 を 万六千九百六十円」 百 を 百二十円」 百 第 百円」に、 円 「第 \emptyset 同 口 「三十五万三千九 八 号 項 \mathcal{O} 改 号 百 第百十二号中 に、 号金 同号を同項第 を 欄 \otimes 中 + 改 イ 「十六万四千 兀 め、 を「二十三万二千九 額 第百 同 第 $\stackrel{\neg}{+}$ 号 項第五 「二十六万二千二百円」 を 百 \mathcal{O} 金 [十二号 同 一万 欄 第百二十号を第百二十二号と + 第 <u>-</u>+ -四 号 号 額 口 百円」 を「六 百十 \mathcal{O} 八千五百六 _ 百 号 を 同 $\bar{+}$ 欄 同 に 中 万四千九 七百円」 項第百十 + ハ 同項第百 1 七 項 1 改め、 及 七 九号金額 及 「第百六号 第百 十四四 万千 号と に改 び び に 第百十 第 百六 に、 百円」 十円」 -七号中 め 兀 +十五号中 百 万八千七 同 -六号と 百 号 \mathcal{O} + 第百十二号金 十円」 八十 を 欄 九 ハ、 同項第百十四号 同号を同項第百 七 「三十四万六千 を「二十六万七千円」 に、 号 を 号 同 1 - 百円」 円 _ 項 ハ 第百十二号 1 「第百二十 「十二万七 に を 第百二十一 七万千四 を 同 L に を 改め、 に、 · 四 万 項 十 第百 額 单 第 同 \mathcal{O} 十九 应 百 七 万八千 七千 百 項 第 百 百 _ 三十 号 百十 号 第 万 円 及 同 + П 兀 +兀 لح 百 項 兀

円」を 百六号 一号中 十三万 七百六 百九 十六万二千二百円」 十三万二千九百円」 項中第百十号を第百十二号とし、 Ŧī. 五万二千八百 万四千七 一万八千五 「二十万 九百 中第百 万 七百二十 十五 号 を 兀 百 六 円」に改め、 金額 百 十円」を「十 金 「六十四 「第百十三号」 「三十五万三千九百円」 同 一号を第 四千 額 千九百六十円」を「六十四万八千七百円」に、 円 四号を第百六号とし 百円」に、「三十四万六千四百四十円」を「三十五万二千八百円」に、 に、 項第百六号中 户 0 百六十円」を「十二万七百円」 \mathcal{O} 門」に、 欄 九百六十円」 「第百 1 口 万八千七百円」 + <u>二</u>十 「二十三万二千 同 [八号] に、 に改 を「第百 六 六号とし を「二十六万七千円」に、「十六万千七百六十円」を 号を同項第百 を「第百十五号」 万 「二十万四千九百六十円」を 万四千七百円」に、 八千五 め 六万二千二百円」 「十七万千四 「十四万七千七百二十円」 を を「二十万八千七百円」 八号金額の欄イ」に、 同号を同項 「第百十号」に改め、 第八十六号から第百三号までを二号ずつ繰り下 に改め、 に、 同 百 第百九号を第百十一号とし、 号 九百円」 八号とし、 + の次に次 「三十四万七千五百二十円」 百 円 八十円」 に改め、 第百十号とし、 同号を同項第百十四号とし、同項第百十 に、「二十二万八千七百二十円 を「二十六 を「十二万 三十四 \mathcal{O} 同項第百五号中「第百七号」 を 号を 十四四 同号を同項第百十三号とし、 「第百六号金額 に、 十七七 「二十万八千七百円」に、 万 を「十五万四百円」 同号を同項第百七号とし 加える。 六千四百 万七千円」に、 七 万七千七百二十円」 「三十四万七千五百二十 「六十三万六千九百六十 同 百 万 四千六 項中第百七号を第 円 同 四十円」 項第百八号中「第 を「三十五万三 \mathcal{O} 百 円 欄口」を 二十二万 に、 を「三十 に、 - 六万千 百九

場合にあっては、用紙一枚につき十円)		付
村物取引業者名簿等の写しの交付を申請する	付手数料	簿等の写しの交
閲覧に引き続いて、当該閲覧に係る宅地建	写しの交	建物取引業者名
十円を加えた金額(第八十二号に規定する	名簿等の	に規定する宅地
業者名簿等につき三百円に用紙一枚ごとに	取引業者	取引業法第十条
一の宅地建物取引業者に係る宅地建物取引	宅地建物	八十七 宅地建物

别 表 都 市 八 整 十 二 号 部 を \mathcal{O} 項 第 中 第 -三号 八 + غ 四号を第 第 八 八 + 五号と 号 \mathcal{O} 次 L に 第 次 \mathcal{O} 八 十三号 を を第 加 え 八 十四号

の規定に	取引業法第十条	八十二 宅
定に基づく	十条	地 建 物
名簿等閲	取引業者	宅地建物
	業者名簿等につき 三百	一の宅地建物取引業者に係る宅地建物取引

に供 者名簿等を閲覧 宅地建物取引業 いする 事 務 覧手数料

(埼玉県証紙条例の一部改正)

第三条 に改正する。 埼玉県証紙条例 (昭和三十九年埼 玉 県条例第六十三号) \mathcal{O} 部を次 \mathcal{O} よう

次に次の一号を加える 別表埼玉県手数料条例 (平成十二年埼玉 県条例第九号) \mathcal{O} 項第二百三十 九 号 \mathcal{O}

二百三十九の二 建設業許可申請書等閲覧手数料

次に次の一号を加える。 別表埼玉県手数料条例 (平成十二年埼玉県条例第九号) の項第二百四十五号の

二百四十五の二 建設業許 可 申請書等の写 しの交付手数料

次に次の三号を加える。 別 表埼玉県手数料 条例 (平成十二年埼玉県条例第九号) の項第二百六十三号の

二百六十三の二 土地使用権等の取得の裁定申請手数料

二百六十三の三 土地等 使用権 \mathcal{O} 存続期間 \mathcal{O} 延長 0 裁定申請手数料

二百六十三の四 収用又は使用の裁定申請手数料

次に次の三号を加える。 別表埼玉県手数料 条例 (平成十二年埼玉県条例第九号) \mathcal{O} 項第三百三十一号の

三百三十 三百三十一の三 三百三十 -の -0 兀 特 興行場等に用途を変更する建築物 用途の変更に伴う工事に係る全体計画の 別 興行場等に用途を変更する建築物 0 使用 \mathcal{O} 許可 使用 認定申請手数料 許可申 申請手数料 ·請手

次に次の一号を加える。 別 表埼玉県手数料 条例 (平成十二年埼玉県条例第九号) \mathcal{O} 項第三百三十七号の

三百三十七の二 宅地建物取引業者名簿等閲覧手数料

次に次の 別表埼玉県手数料条例 号を加える。 (平成十二年埼玉県条例第九号) \mathcal{O} 項第三百四十 号の

附則

行 する。 \mathcal{O} 条 例 は 次 \mathcal{O} 各 号に 掲 げ る 区 分 に 応 Ü そ れ ぞ れ 当 該 各 号 に 定 \aleph る 日 カュ 5 施

- \mathcal{O} 改 正 規定及 埼 び 玉 同 県 表 手 保 数 健医 料 条 療 例 第三条 部 \mathcal{O} 項 \mathcal{O} 第 改 + 八 正 規定 号 \mathcal{O} 改 平 正 ·成三十 規 定 _ 同 年 条 兀 例 月 別 表 福 日 祉 部 \mathcal{O} 項
- 三号 証 第一 紙条例別 \mathcal{O} 次に 条中 三号 表埼 · 埼 玉 を 県 玉県手数料条例 手 加 え 数 る改正 料条 例別 規定 表県土整 (平成 平 成三十 十二年 備 部 埼 ___ \mathcal{O} 年 玉 項 -六月 県 \mathcal{O} 条例 改正 _ 規定及 日 第 九号) び 第三条 \mathcal{O} 項第二百六 中 埼 玉 +県
- 手数料 え 同 0 施行 んる改 条例 第一 条中 正 条 別 \mathcal{O} 規 例 表 日 都 埼 定 平 市整備 玉 建築基 一県手 成 + 部 数 準 年 料 \mathcal{O} 法 埼 項 条 \mathcal{O} 玉 \mathcal{O} 例 県 第三条第十 改 -- (正規定並 条 部 を改正 例 第九 する 号) び 九 に 号 法律 か 第三条中 \mathcal{O} 項 5 第二 第三百三十 伞 -成三十 十六 埼 玉県 号 · 年 法 証 ま _ 号 紙 で 律 \mathcal{O} 条 \mathcal{O} 上第六十 次 例 改 に三号 别 正 表 規 七 埼 定 号) を 玉県 及 加 てバ
- + 正規定及 五号 第二条並 第 \mathcal{O} 九 次 び 号) び 同 に 項第三百 _ に 号 第三条 \mathcal{O} 項 を 加 第二百三十 四十 える 中 埼 改 玉 号 正 県 · 九 号 規 0 証 定、 次に 紙 0 条 同 次 例 一号を加える改正規定 項 に 别 第三百三十 表埼 一 号 を 玉 加え 県 手 七 る 数 号の 改 料 正 条 規 次 例 定、 に — 平成三十一年十 伞 号を 同 成 項第二 十二年 加 える 百 埼 四 玉 月